こんなことが医療現場で起こっていませんか?
こんなことで現場の皆さんは困っていませんか?

医療機関の皆様がすぐにできることは、日常点検です!

医療機器の始業点検･終業点検は医療機関の皆様にしかできないことです。医療機器の健康診断を毎日行ってください。

どうしたら、日常点検の項目がわかる?

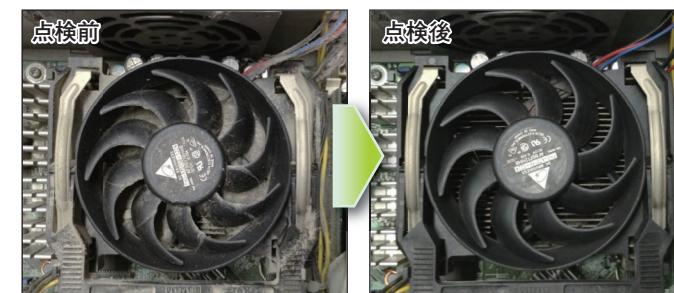
医療機器の添付文書、取扱説明書に点検項目が記載されています。

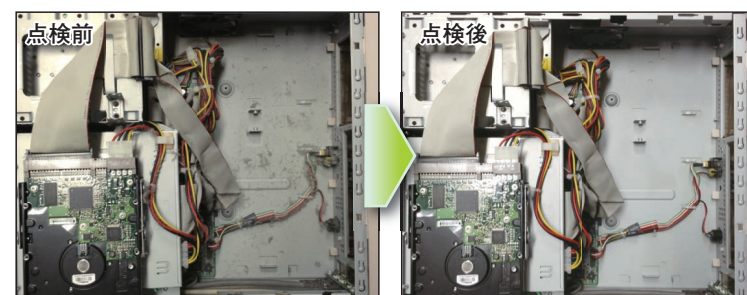
JIRA でも始業・終業点検表を提供しています!

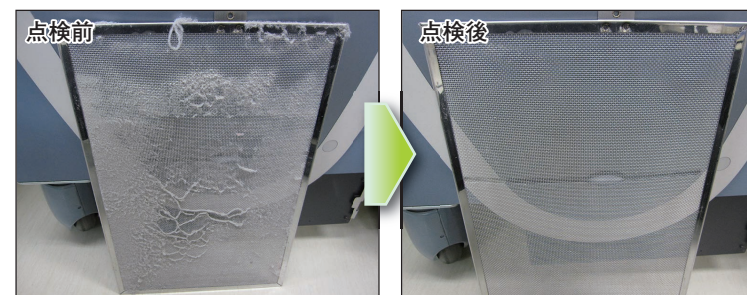
JIRAのホームページにて配布しております。
無料でダウンロードできますので、ぜひご活用下さい。
http://www.jira-net.or.jp/anzenkanri/01_hoshutenken/01-03.html

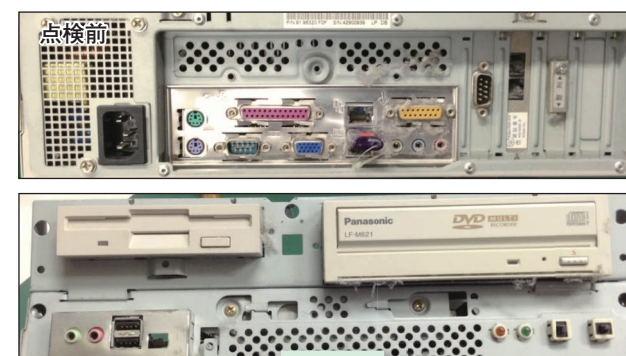
だから保守点検が必要なんです!

FAN の清掃

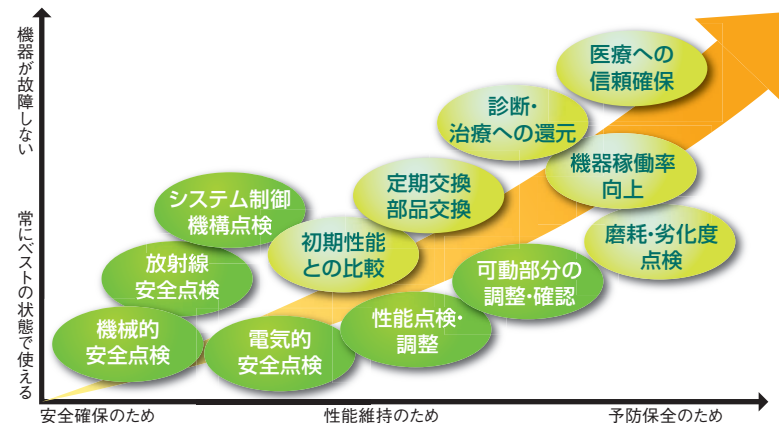
点検前はFANにホコリが付着し機能が著しく低下。
本体機能にも影響を及ぼします。

機器内部の冷却FANにもホコリがたまり、熱滞留が発生し、機器の異常につながります。

機器内部の清掃

カバーの中の本体内部にも時間がたつとホコリがたまります。

装置本体フィルタの清掃

装置本体の網フィルタにホコリが溜まり、機能低下の原因となります。

機器前後の清掃（脱カバー）

本体とカバーの間にホコリがたまり動作不良の要因となります。

特定保守管理医療機器とは

医療機器のうち、保守点検･修理･その他の管理に専門的な知識および技能を必要とすることから、その適正な管理が行われなければ疾病の診断、治療または予防に重大な影響を与える恐れがあるものとして、厚生労働大臣が薬事･食品衛生審議会の意見を聞いて指定されています。

JIRAでは、｢医用放射線機器安全管理センター(MRC)｣を設置し、医療機器点検技術者の資格制度を設け育成しております。

安全性、有効性を維持するために、薬事法にて特定保守管理医療機器が定められました。これらの医療機器の保守点検を委託する際は、修理業許可業者に依頼する必要があります。
特に大型画像診断医療機器につきましては、業界で認定された確かなスキルを持った認定技術者による点検をお勧めします。**http://www.jira-net.or.jp/commission/mrc/index.html**

(医用放射線機器安全管理センター)